

## 「ベルダーシュ」 異性装から「異装」研究へ

國弘 暁子 (COE研究員・PD) KUNIHIRO Akiko

2007年の秋、神奈川大学COE若手研究員派遣制度を利用して、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学 (UBC) を訪問した。その目的は、カナダにおけるファースト・ネイションズ First Nations (先住民) の中で、他の人々と異なる衣装を纏う「ベルダーシュ *berdache*」に関する研究動向を知ることであった。衣を纏うという「ベルダーシュ」の営為に焦点を当てた研究を行い、インドのヒジユラに関する事例を交えて、人類文化における「異装」の意義を見出すことができないかと考えている。

「ベルダーシュ」とは、西洋の探検家たちが発見した、北米先住民の特殊なジェンダー・カテゴリーであり、異性の衣装を纏って、異性の役割を担う人々を意味していた。その語源は、男性同士の性交における受身役を意味するアラビア語の *bardag* にあり、それがヨーロッパ諸言語に取り入れられ、そのうちの一つ、フランス語の *bardache* が後に英語の「ベルダーシュ *berdache*」になった [FULTON & ANDERSON 1992:603]。先住民の間では、ナードル *nadleeh* (ナバホ族)、ラマーナ *lhamana* (ズニ族) というように、部族ごとに異なる名称が用いられるが、アメリカの人類学的研究では、それらの総称としての「ベルダーシュ」が定着し、「同性愛、両性具有、異性装、トランスジェンダーのすべてを包含する語として使用」されてきた [JACOBS & THOMAS 1999:92-93]。

「ベルダーシュ」という語の成立過程を問題視する研究者は、侮蔑的な性カテゴリーとしての「ベルダーシュ」を使用することを避け、先住民の間における伝統的役割をより適切に示す「男・女 Man-Woman」役割と表現する [FULTON & ANDERSON 1992:604]。また、「二つの精神を備えた人々 Two-Spirited People」という表現も普及するが、それは、男性と女性の両方の特徴を備えた人々を指す汎先住民用語を英語で表現したものとされる [http://www.mcgill.ca/interaction/mission/two-spirit/ (2007年11月1日アクセス)]

このように「ベルダーシュ」は、名称を変えながらも、男性性と女性性の両方を併せ持った、もう一つのジェンダー役割、あるいはカテゴリーとして位置づけられてきたが、それらジェンダー・カテゴリーの繰り返し、

「ベルダーシュ」の宗教文化的側面を看過させた点是否めないだろう。「ベルダーシュ」は、男性性と女性性の双極を横断する存在であると同時に、人間界と自然界とを仲介する力も備えており、その両義性が先住民社会における地位を向上させるという指摘もある [MILLER 1982:280]。「ベルダーシュ」の宗教文化的な両義性を前景化させるためには、近代的思考にもとづく性の分類様式を用いることなく、彼らの営為に着目したフィールドワークを実施して、先住民社会における「ベルダーシュ」としてのあり方を把握することが必要である。その取り組みとして、「ベルダーシュ」を異性装者と同定せずに、異質性を顕在化させる「異装」の反復行為とその意義に着目してみたい。



UBCキャンパス内のXwi7xwa Libraryに通じる螺旋階段上部の写真。階段を下ったところに、ファースト・ネイションズに関する文献を多数所蔵するLibraryがある。Xwi7xwa (whei-whaと発音) とは、ファースト・ネイションズ言語の一つ、Squamish語で "Echo" を意味する。

### 引用文献

- FULTON, ROBERT, and STEVEN W. ANDERSON. 1992, "The Amerindian "Man-Woman": Gender, Liminality, and Cultural Continuity," *Current Anthropology*, 33/5, pp.603-610.
- MILLER, JAY. 1982, "People, Berdaches, and Left-Handed Bears: Human variation in Native America," *Journal of Anthropological Research*, vol.38, no.3, pp.274-287.
- THOMAS, WESLEY, and SUE-ELLEN JACOBS. 1999, "...And We Are Still Here": From Berdache to Two-Spirit People, *American Indian Culture and Research Journal* 23:2, pp.91-107.

\* 1970年代より、カナダでは「インディアン」という名称の代わりに「ファースト・ネイションズ」を使用ようになる。 [http://www.aincinac.gc.ca/pr/pub/wf/trmrs1t\_e.asp?term=10] (2007年11月16日アクセス)。